



外務省外交史料館 特別展示



日本と ポーランド



国交樹立100周年

令和元年10月16日(水)～令和2年1月31日(金)

主催：外務省外交史料館 協力：駐日ポーランド共和国大使館

会場：外務省外交史料館 別館展示室

開館時間：土日・祝日・年末年始を除く10時～17時30分

※10/26, 11/9, 11/23, 12/14, 12/21, 1/11, 1/25の各土曜は臨時開館

住所：東京都港区麻布台1-5-3 TEL:03-3585-4511(代表)

中央の図柄は1922年に両国の間で結ばれた「日本国波蘭国間通商航海条約」の批准書にみられるもので、第二次世界大戦前のポーランドの国章に装飾を施したもの。 ※波蘭＝ポーランド



入場
無料

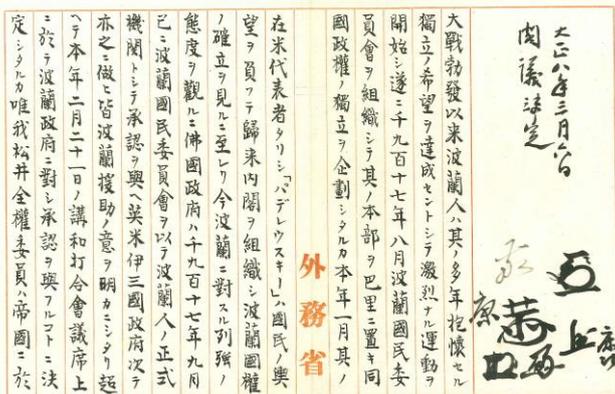
外務省外交史料館特別展示

日本と ポーランド

令和元(2019)年は、日本とポーランドの国交樹立100周年の節目の年にあたります。本展示では、親日国として知られるポーランドと日本の交流の歴史を、日露戦争時やポーランド孤児のエピソードなども含め、外務省が所蔵する史料を通して、ご紹介します。本展示が日本とポーランドの相互理解を促進し、友好関係発展の一助となれば幸いです。

ポーランド国家承認に関する閣議決定書

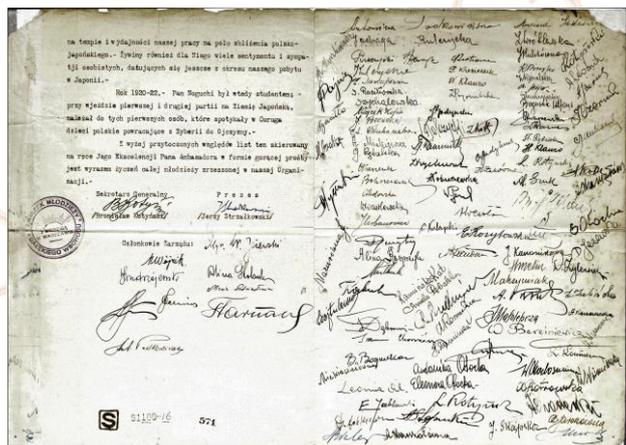
1919(大正8)年3月6日



第一次世界大戦が終結し、独立を回復したポーランドを日本政府が国家として承認することを決定した閣議決定書。本決定をポーランドに通告した3月22日が両国の国交樹立日。

野口外務書記生帰国に際しての極東青年会の陳情書

1938(昭和13)年5月12日



ロシア革命後の混乱の中、孤児となったシベリアにいたポーランド人の子ども達を日本は保護し、ポーランドへ移送した。孤児達は帰国後、極東青年会という団体を組織し、両国の親善活動に努めた。本史料は、彼らを熱心に支援した野口芳雄外務書記生の日本帰国に際し、野口外務書記生を再びポーランドに戻してほしいとして提出された陳情書。

【日本・ポーランド交流史略年表】

年	出来事
1904	日露戦争勃発 ドモフスキ、ピウスツキ来日
1918	ポーランド独立回復 ピウスツキが国家元首に就任
1919	日本・ポーランド国交樹立
1920	ポーランド孤児救済 駐日ポーランド公使館開設
1921	駐ポーランド日本公使館開設
1922	ポーランド孤児救済(二回目) 日本国波蘭国間通商航海条約調印
1939	第二次世界大戦勃発 独ソがポーランドを分割占領
1941	大使館閉鎖 太平洋戦争により国交断絶
1945	ソ連によるポーランドの占領解放
1957	日本・ポーランド国交回復
1980	独立自主労組「連帯」発足
1989	選挙で「連帯」が圧勝し政権獲得 国名をポーランド共和国とする
1994	日本美術技術博物館の設立 ワレサ大統領訪日
1995	阪神・淡路大震災被災児童の ポーランド招待(1996年も実施)
2002	天皇皇后両陛下ポーランド御訪問
2011	東日本大震災被災児童のポーランド 招待



日本国波蘭国間
通商航海条約
(調印書)



日本国とポーランド
人民共和国との間の
国交回復に関する
協定(調印書)

ワレサ大統領(国賓)訪日記念アルバム

1994(平成6)年12月7日



1980年代にポーランドで始まった「連帯」運動は、ポーランドに民主化をもたらし、中・東欧諸国の変革へとつながった。本写真はこの運動を指導したワレサ大統領の訪日記念アルバムに収録された写真。右は村山富市総理(当時)。

外務省外交史料館

TEL:03-3585-4511
FAX:03-3585-4514
http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/

- 南北線 六本木一丁目駅 徒歩8分
- 大江戸線 六本木駅 徒歩10分
- 日比谷線 六本木・神谷町駅 徒歩10分

都営バス
(渋88)「麻布台」バス停徒歩1分
(反96)「飯倉片町」バス停徒歩3分

